

第62回全日本教職員バドミントン選手権大会 一般女子団体優勝：神奈川県

コロナウイルスの流行が一定の収束を見せ、さまざまなイベントが戻ってきつつあります。私たちが接する学生・生徒・児童たちに正面から向き合える喜びを噛み締めながら、毎日を送ることができるようになってきました。今回も日本バドミントン協会をはじめ、日本教職員バドミントン連盟、運営をしてくださった北海道の関係者の方々のご尽力によって、第62回全日本教職員バドミントン選手権大会を開催いただきました。大会に携わってくださいましたすべての方々に感謝申し上げます。

前回の愛媛大会では、久々に全国の先生方とお会いできる喜びを感じながらプレーした私たち神奈川県教職員チームでしたが、そこでいくつもの入賞を果たし、今回はこの成績を上回ろう意欲的に一年間を過ごしてきました。その結果、念願の団体戦での優勝を一般女子チームが果たすことができました。

一般女子団体チームは、昨年度の雪辱を期すべく練習に励んできました。大会前日には決起集会を行い、気合いを入れ、大会へ臨みました。

神奈川県では、年齢や性別に関係なく、さまざまな方々と定期的に集まり練習を行なっています。教職員とバドミントンという2つの共通点を通じて、たくさんの繋がりができていることが神奈川県の自慢できるところかもしれません。

本大会でも神奈川県の選手に声援を送る様子がありました。また、この大会から全日本総合選手権への出場権を得た、本県代表の甲谷光、内藤浩司、城所恵美、嶋田菜乃の選手たちへも神奈川県教職員チームは一丸となって応援しました。

選手の頑張りはもちろんのこと、チーム一丸で後押しし勝ち取った勝利は、さらに神奈川県教職員チームを強くしてくれたように感じます。一般女子団体の優勝はその集大成でした。

私たち教職員はバドミントンという競技を通じて育ててもらってきたところがあります。それを仲間で共有・確認しあえる教職員大会はとても貴重な機会です。今後も未来ある子どもたちにその経験を還元できるように取り組んでいきたいと思えます。

北海道では、決起集会、および祝勝会で大変嬉しい(美味しい)思いをさせていただきました。次なる開催地でも続けていけるように頑張りたいと思っています。

神奈川県一般女子団体代表

嶋田 菜乃

神奈川県教職員バドミントン連盟事務局 北澄 拓央